

グラスルーツからの日米経済強化プロジェクト 令和2年度の取組（代表例）及び令和3年度の方針

令和3年7月30日
外務省

令和2年度取組（予算額 約2.89億円（※））

日系企業、日系人コミュニティ、地方自治体等と連携し、コロナ禍に対応した取組を実施（ウェビナーやオンラインも活用）

①お弁当プロジェクト



●日本食普及にかかる広報の一環として、ニューヨーク市内の日本食レストランが提供のお弁当を、コロナ禍において最前線で働く医療機関、警察署、消防署、鉄道会社などに配布する「お弁当プロジェクト」を実施。

②日系企業の地域貢献PRコンテンツ



●テネシー州・ケンタッキー州に進出する日系企業の地域貢献等の取組をPRする動画を制作・放映した。各日系企業への理解促進、日系企業や日本へのイメージアップに寄与した。

令和3年度取組の方針（予算額 約2.39億円（※））

- バイデン政権の重点分野に留意した行動計画2.0に沿った形で、オールジャパン（官民連携）で米国各地で案件を実施していく。
- コロナ禍においても発信効果の高い案件を各公館へ水平展開しつつ、「ニューノーマル」における案件実施を力強く推進していく。
- 米国における経済活動再開が加速化していくところ、グラスルーツにおける取組を今後の日米経済関係の起爆剤とすべく、コロナ禍からの経済再開を見据えた取組を行っていく。

（※）北米第二課予算額